

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	人間と世界Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0123			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位Ⅱ: 2		
開設学科	国際創造工学科 電気・電子系			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』『中世ヨーロッパの都市の生活』(講談社学術文庫)						
担当教員	箱山 健一						
到達目標							
文献を精密に読んで要点を発表することは、専門分野の違いを越えて、重要な能力です。この授業では、ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』『中世ヨーロッパの都市の生活』を輪読することを通じて、文献の要約と発表の能力を養います。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
文献の要約と発表	テキストの内容を的確に要約して発表できる。			テキストの内容を要約して発表できる。		テキストの内容を要約できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』『中世ヨーロッパの都市の生活』を輪読する。						
授業の進め方・方法	成績の評価は、発表の評価と定期試験の成績で行い、平均の成績が60点以上の者を合格とする。発表はチーム対戦方式で行ない、投票によって優劣を決める。負けチームの学生は連帯責任とし、成績から所定の点数を差し引く。						
注意点	中間試験は行なわない。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		3週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		4週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		5週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		6週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		7週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		8週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
	2ndQ	9週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		10週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		11週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		
		12週	ギース『中世ヨーロッパの農村の生活』を輪読する。		当直チームはテキストの担当箇所を的確に発表することでプレゼンテーション能力とチーム運営能力を習得し、当直チーム以外の者は発表内容を評価する能力を養成する。		

[illegible]

評価割合			
	試験	相互評価	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0